

# 共生・協働の地域社会づくり

一人一人のおもてなしの心が通うまちづくり

## 今和泉いぶたま歓迎隊

「今和泉いぶたま歓迎隊」は、「篤姫」ゆかりの地でもある指宿市今和泉を走る特急列車「指宿のたまて箱」(愛称・いぶたま)に向かって、手や小旗を振って観光客を迎える活動をしています。同隊の隊長である馬場焔末治さんは、いぶたまが運行される前から、この地区を訪れる多くの観光客に地域全体でもてなしの心を伝え、そのことで地域も元気になる取り組みができないかと仲間と語り合ってきました。

歓迎隊の活動は、平成23年5月に馬場焔さんが発起人となり始まりました。PTAや子ども会で役員を務めるなど、地域の活動に長く携わってきたメンバーの人脈を生かし、公民館や学校などに向けて、地域行事や学校の昼休み時間にあわせていぶたまに手を振ってもらうよう協力をお願いかけました。列車に向かつて振る紅白2種類の小旗は、指宿商業高校美術部の生徒た



玉手箱のイラストが描かれた小旗

ちが玉手箱のイラストを考え、指宿市の補助金を活用して作成しました。小旗が完成した年の地区運動会で活動の本格的にスタート。それまでの呼びかけの努力も実り、いぶたまに向かって200人以上の地区住民が手や小旗を振り続けました。突然のことに驚いた多くの乗客たちも、すぐに笑顔で手を振って応え、心の通うおもてなしが実現しました。これをきっかけにいぶたまに手を振る活動が広がり、その様子は、いぶたまの魅力とともにマスコミにも大きく取り上げられ、今ではこの光景がいぶたま乗車の楽しみの一つとなっています。



地区運動会などの地域行事では、参加者総出で手や小旗を振ります。

「できることを、できるところで、決して強制しないをモットーに活動を続けています」と語る馬場焔さん。平成24年12月には、活動

### 代表者からひとこと



今和泉いぶたま歓迎隊  
隊長の馬場焔 末治さん

地域での活動が続けられるよう、後輩を育てていくのも自分たちの仕事です。

活動が始まって2年が過ぎ、歓迎隊では次の一手を検討中。地域全体でできることは何か、地域の人も地域を訪れる人も共に笑顔にする次の「サプライズ」(驚き)が楽しみです。

「指宿商業高校の生徒たちや地域の子どもたちの取り組みが認められたことが何よりうれしかった」とも語ります。多くの人に喜ばれ認めてもらえることで、地域への誇り、そして自分たちにもできることがあるという思いを地域の人たちが共有できました。



地元の子どもたちも、いぶたまの通過に合わせて小旗を振ります。

共生・協働の地域社会づくりや  
NPO法人に関するお問い合わせ先

◎共生・協働推進課(県庁9階) TEL 099(286)2241  
◎共生・協働センター(かごしま県民交流センター内) TEL 099(221)6613  
関連情報は、県ホームページの「共生・協働(NPO・ボランティア)」にも掲載しています。